

早期実現へ膨らむ夢

県立大
学長 未来の地域像など講演



東北誘致

奥州

国際リニア
コライダー

(ILC)講演会(いわて
ILC加速器科学推進会議
など主催)は6日、奥州市



ILCサポーターズを宣言し、誘
致に向けて盛り上げを誓う参加者

水沢佐倉河の市文化会館で約500人が参加して開かれた。東北ILC準備室長の鈴木厚人県立大学長が講演し、正念場を迎えたILC誘致の実現に向け、さらなる市民の盛り上げを期待した。

鈴木学長はこれまでの誘致の取り組みやILC実現によって目指す地域像などを紹介。「(実現に向け)カウンタダウンが始まった」と政府の判断が大詰めを迎えている現状を説明し、海外から研究者らが訪れた後の地域の姿について「これまでの地域の資源や施設、衣食住の環境などを最大限活用する」と話した。

多文化共生社会の実現のために、あえて日本語を使って外国人と交流することも一つの鍵だと指摘した。

同市前沢字五合田の千田精密工業代表取締役の千田伏二夫さん(73)は「皆が夢を持てるような内容だった。イメージが膨らみ、ワクワクした」と感想を話した。講演後には参加者が声を合わせて「ILCサポーターズ」を宣言し、早期実現を期待した。